

正月一日略○中 一唐納豆二箱、大福田寺日不定、一御こきのご臺にすわる也、光雲寺進上之日

失念也、四日略○中 一御守御餅御守祇園執行進上也、八日 一護持僧略○中 因幡堂執行小野

寶成院已下法中少々參賀略○中 一久喜 神護寺進上之、一梅漬一桶 三寶院殿より參略○中

一護持僧事略○中 毘沙門堂隨心院尊勝院上乘院號岡崎理性院 十日略○中 一青海苔一折、蒟

蒟一折、扣牛蒡一折、若王子進上之、十一日 一御對面次第は、一番眞木嶋、次造宮司、次法中、是は

盛富説也、一長老達法中參賀、伊勢祭主、造宮司、眞木嶋出仕、一御對面次第ハ、一番に長老達、是

は蔭涼軒申被次候て、西より一列被參候也、次東より伊勢祭主と申入て、御祓を御頂戴有て、祭主

懸御目、次眞木嶋掛御目、法中被懸御目也略○中 一五山之長老は必おくり御申也、紫衣にて候は

ねども、長老にて候へば、必おくり御申也、又會下の長老、念佛之長老などは、紫衣にて候得共、お

り御申無之略○中 一先々は、大乘院、一乘院以下、南都衆數多在之、是は盛富説也、因幡守説同之、

十二日 一御室青蓮院御參法中少々略○中 出仕略○中 一久喜 法金剛院より進上之、

〔驢驢嘶餘〕一寺家年頭ニ武家御所へ參ル時ハ、裏衣ニ白綾平絹ヲ裏付タルヲ重子ニシ、生絹ノ大

口ヲ著テ、五條ノ袷袷ヲカク、塗興ツカヒ小者伴ニ中方裏衣ロクロ袴ノ衆多シ、其アト若黨中間

アリ、御太刀進上、奏者大館左衛門大夫被物一重賜也、同比丘尼御所へ被參也、一被物一重トハ、

綾小袖、或練貫一重ノ事ゾ、祿物金銀等也末法橋凡僧ハ、ウス袷袷トテ、平絹ノ裏ノナキ袷袷ナリ、○中略

〔幕朝年中行事歌合上〕六番 左 寺社參賀

春をまゐる聲はかはらし神のます鳥ゐのからす法の山鳩略○中

寺社の參賀は正月六日也、兩御所御風折烏帽子御直垂御所ハ薄色、西御所ハ赤色、各ひた、れ狩衣大紋を

著す、白木書院にして増上寺大僧正をはじめ、獨禮の寺院、山王の宮司など出て、ことほぎをの

ぶ、後大廣間に渡御ありて、諸國の寺社山伏等の拜賀を受らる。